

鶴見川出張所だより

京浜河川のHPは <http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
鶴 見 ・ 新 横 浜 出 張 所 発 行
(代 表) 鶴 見 出 張 所
電 話 0 4 5 - 5 0 1 - 3 0 3 8
2 0 1 5 年 0 1 月 1 5 日 【 第 2 1 号 】

昨年2月に雪化粧した鶴見川



鶴見区上末吉3丁目付近から下流を撮影

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。

「鶴見川 出張所だより」編集長で鶴見出張所長の上林でございます。

鶴見川のうち、鶴見川河口～末吉橋（川崎市幸区小倉、横浜市鶴見区上末吉）の範囲を鶴見出張所が管理を担当しています。

また、末吉橋～第三京浜橋梁（横浜市都筑区川向町、港北区小机町）および矢上川1.8km、早淵川1.6km、鳥山川1.9kmの範囲の管理を新横浜出張所が担当しています。今年もよろしくお願ひします。



昨年は、日本の中でも広島の大豪雨災害、御嶽山の噴火など多くの災害があり、亡くなられた方も多かった一年だったと思います。

鶴見川でも10月の台風18号では、戦後の台風の中で流域の雨量が昭和33年の狩野川台風次に次ぐ2番目の量を観測しています。

しかし、その頃に比べて鶴見川流域は、河川内の治水対策だけでなく、流域で一体となった対策を進めていたことなどもあり、被害も少なくすんだものと思われまふ。今後、地球温暖化などの影響により降雨形態が変化する可能性もあり、注意は必要だと思ひまふ。

現在、下流部では、大きな地震が起こった場合堤防の地下部分が液状化しにくくなるような対策工事など行っています。

堤防が液状化し沈下した場合、その後に予想される津波による被害はかなり大きくなることと予想されます。

まだまだ地震対策等の工事が続くとおぼれまふますが、引き続きよろしくお願ひいたします。



2014年の鶴見・新横浜出張所管内の10大(重大)ニュース

1. 鶴見川多目的遊水地に過去最大流入

昨年は、10月台風18号により鶴見川流域が豪雨となり、鶴見川多目的遊水地に過去最大の流入がありました。今回の鶴見川流域雨量は、昭和33年の狩野川台風に次ぐ、2番目のものとなっています。



—10月6日10時40分頃の鶴見川多目的遊水地—



2. 鶴見川流域センターに来館者20万人

平成15年9月に鶴見川流域センターが開館し、昨年2月3日に横浜市立北綱島小学校のみなさんを迎え20万人の来館者を達成しました。

3	戦後2番目の降雨量	鶴見川流域の平均降雨量が、昭和33年9月の狩野川台風時(343mm)に次ぐ2番目(322mm)の大雨となっています。
4	水マス10周年	平成16年8月2日に鶴見川流域水協議会により「鶴見川流域水マスタープラン」が策定され、10周年となり各地でシンポジウムやパネル展を開催しました。
5	鶴見川の雪化粧	2月8日と14日の2回都心で20cmを超える雪が降り、甲府(114mm)など関東でも多くの地点で観測開始以来、過去最深積雪を大幅に塗り替える積雪を記録しました。
6	地震による液状化対策工事	堤防下の液状化しやすい層にセメントミルクを柱状に圧入し、地盤改良することで地震に強い堤防にしています。
7	アユの仔魚(シギョ)を初確認	鶴見川河口干潟で仔魚を確認(鶴見川のアユが天然であることの証)しました。
8	鶴見川サマーフェスティバル	鶴見区内の佃野公園と鶴見川で、恒例の花火大会などのイベントが8月23日(土)に行われました。
9	鶴見川新春富士見ウォーク2014	1月11日(土)と18日(土)に分け、鶴見川新春ウォークが実施され、下流部は鴨居河川敷から鶴見川河口まで歩きました。
10	鶴見川クリーンキャンペーン	鶴見区内の芦穂橋周辺で『第6回鶴見川クリーンキャンペーン』が10月8日(水)開催され、鶴見区内の企業の方や川沿いの住民の方約200人が参加しました。鶴見川桜・緑化実行委員会が主催し、年2回開催しています。

あ と が き

今年も鶴見川に係わる方々から鶴見・新横浜出張所管内での10大(重大)ニュースをアンケートし、その中からまとめたものを紹介させて頂きました。

団体毎にまとめたものを送って頂いたりしているので、話題性の多かったものから10大ニュースとさせて頂きました。

私も昨年12月に60歳を迎え、今年の3月に定年となります。出張所長となり9年目、出張所だよりを発行紙続けてきましたが、初めて欠刊となってしまいました。残り3ヶ月間をより鶴見川を知って頂くために、記事等工夫しながら発行して行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

『鶴見川 出張所だより』編集長(上林喜美夫)

鶴見川流域センターは防災情報を発信しています

JR小机駅の近くにある、地域防災施設『鶴見川流域センター』では、冬場に入り平日の見学者は少なくなっていますが、土日祭日の来館者は多くなっています。

昨年は、2月の2回にわたる大雪や10月の台風18号による遊水池への過去最大の流入などの出来事がありました。この間、この流域センターからは、流域の防災調整池や遊水地、雨量や河川の水位情報、Xレインなど多くの防災情報を発信してきました。

また、鶴見川の水質など環境面でも大きく改善された鶴見川の情報も発信してきました。

今後も色々な情報を発信していきますので、引き続きよろしくお願ひします。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

(鶴見川流域センター直通)